

別添参考

記載に当たっての留意点

1. はじめに

過去の応募用紙において、概念的、情緒的に記載されており、具体的な取組の評価が困難であるものが一部散見されたことから、今後の申請に当たっては、以下の事項に留意して要領に定める応募用紙（別紙1）を作成していただくようお願いする。

2. 「応募者の概要」について

応募部門については、応募者の取組及び意向に基づき、被害防止部門または捕獲鳥獣利活用部門のいずれかを選択して応募すること。

被害防止部門にあつては地域の鳥獣被害対策実施隊との関係や実施隊における役割、捕獲鳥獣利活用部門にあつては実施隊との関係を、具体的かつわかりやすく記載。

また、応募者自身の主な組織概要もしくは事業内容を記載すること。個人の場合は、職業と主な取組内容を記載すること。

3. 「活動地域の概要（被害の概要）」について

- ① 地域の一般的な概況（位置や気候など）を簡潔に記載。
- ② 農業生産額や作付面積など地域の農作物生産の状況を記載。
- ③ 鳥獣による農作物被害の概況（いつ頃から、どのような鳥獣によって、どのような作物に対する被害が、どの程度発生し、現在に至るのか。）を具体的に記載。

4. 「活動の動機、活動開始時期、発展過程」について

- ① 活動を始める前の被害対策がどのようなものであったのかを記載。
- ② 「3. 活動地域の概要」を踏まえ、応募対象の個人又は団体について、いつ、誰が、どのような経緯で、今回応募した活動を始めるに至ったかを記載（活動開始時期について年は必須。可能であれば月日まで記載）。
- ③ 活動に当たり現在に至るまでに生じた問題や課題、課題解決に向けた取組の内容、当初の活動をより発展させる取組について、いつ、誰が、何を、どのように行ったか記載。

5. 「活動の内容」について

- ① 被害防止部門にあつては地域の鳥獣被害対策実施隊との関係や実施隊における役割、捕獲鳥獣利活用部門にあつては実施隊との関係を、具体的かつわかりやすく記載。

② 要領別紙1の（例）に記載した項目について、個人、団体の取組活動がいかに優良であるかを客観的に示せる年度ごとの定量的なデータとして被害対策に当たる実施隊等の構成員数、鳥獣の捕獲頭数、追い払い回数、柵の長さ、罾の個数、普及啓発等の取組の回数等を用いて記載。ただし、要領別紙1の（例）の全ての項目を記載する必要はない。

③ 捕獲鳥獣利活用の取組にあっても、その取組がいかに優良であるかを客観的に示せる定量的なデータとしてジビエ等として利活用している頭数、捕獲頭数に対する利活用頭数の割合、利活用による収益等を用いて記載。

④ ジビエ等としてより有効に利活用するため、捕獲、運搬、食肉処理加工、出荷、調理、提供までの一連の過程において、具体的に衛生管理の徹底や品質確保に努めている取組をはじめ、周辺の他の地域で見られない工夫、取組当初からの改善等を行っている場合、複数の技術の組み合わせや技術の高度化等に取り組んでいる場合には具体的に記載。

6. 「活動の成果」について

「3. 活動地域の概要」「4. 活動の動機、活動開始時期、発展過程」「5. 活動の内容」の記載を踏まえ、活動の定着化や地域内外への波及、地域活性化への貢献等について記載（可能であれば、耕作放棄地の解消、捕獲頭数の推移及び捕獲鳥獣利活用の推移について定量的なデータを含め記載）。

なお、定量的なデータについて、取組開始時（又は開始前）及び直近4年度分以上の数値を記載すること。ただし、要領別紙1の（例）の全ての項目を記載する必要はない。

7. 「今後の活動方向」について

現状の活動が抱える課題や、取組の発展を図るために検討中の新たな方策・構想について、「5. 活動の内容」や「6. 活動の成果」等を踏まえ記載。

8. その他

審査項目及び審査基準は別紙3-1及び別紙3-2のとおりとする。応募者が個人の場合は地域の取組に対する指導・助言の内容や地域全体の活動における役割、貢献内容が分かるよう記載。応募用紙は、A4版8枚以内（写真（※特に捕獲鳥獣利活用部門において捕獲運搬、食肉処理加工、出荷、調理、提供等に係る写真を添付する場合は、遵守している衛生管理のルール等に留意すること）、図表を含む）とし、これ以外に活動内容が具体的にわかるものを参考資料として添付。

※参考資料の例

・被害防止部門

被害対策に係る資料（被害防止計画や取組体制等）、新聞等の記事、地元の広報誌、イベント等のチラシやポスター

・捕獲鳥獣利活用部門

捕獲鳥獣の利活用に係る資料（衛生管理上の取組や衛生管理に関するガイドライン、基準）、新聞等の記事、地元の広報誌、イベント等のチラシやポスター

なお、表彰される個人・団体については、受賞を辞退できないものとする。